

# Beyond SDGs の動的プロセスとしての 「Better Co-being」

— アジェンダ 2025 の知的レガシー —

## Beyond SDGs の「プロトタイプ」としてのテーマウィーク

2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の中核的な知的活動であった「アジェンダ 2025」は、単なる国際会議の連続ではありませんでした。それは、2030 年を期限とする現行の持続可能な開発目標（SDGs）の「次（Beyond SDGs）」に来るべき、新たなグローバル・アジェンダを模索するための\*\*リビングラボ（生きた実験室）\*\*であり、その「プロトタイプ」を構築する試みでした。

SDGs が「貧困の根絶」や「飢餓の解消」に代表されるように、人類社会が存続するための「土台（Baseline）」、すなわち物質的・量的・制度的な課題解決に主眼を置いていたのに対し、7つのテーマウィークは、その土台の上で「いのちが真に輝く」とはどういうことか、という問いを立てました。言い換えれば、SDGs の枠組みでは捉えきれなかった内面的・質的・関係的な側面、すなわち「人間性の核心」へと焦点を移行させる試みだったと言えます。この「Beyond SDGs」をめぐる世界規模の対話と知的な集約のプロセスを通じて、未来社会をデザインするための OS（オペレーティング・システム）として機能しうる、\*\*6つのキーワード（新基軸）\*\*が浮かび上がりました。

## 対話から浮かび上がった 6 つのキーワード

### 1. Well-being（内面的充実）

SDGs が「健康や福祉」（SDG3）において主に「身体的健康」や「医療アクセス」に焦点を当てていたのに対し、本提言は「幸せの追求（内面的側面）」へと議論を拡張します。これは、SDG3 の定義を遥かに超えるものであり、「孤独の克服」「心理的安全性」「自己実現」「尊厳の保持」といった内面的な充実を含む包括的な概念です。

### 2. 共感（Empathy）

SDGs が「パートナーシップ」（SDG17）において主に「制度的な協力」や「資金・技術移転」を重視したのに対し、本提言はそれに先行する倫理的な感受性を中核に据えます。それは、制度の前提として、人と人とのミクロな「共感や信頼」を社会の基盤に据え直す、「社会デザインの出発点」としての感受性です。これは「個の尊重」（1.1 章）や、AI 時代に人間が学ぶべき「人間らしさ」（2.1 章）の核でもあります。

### 3. 文化 (Culture)

SDGs が主に「文化遺産の保護」(SDG11.4)に見られるような、静的な「遺産保護」の側面から文化を捉えていたのに対し、本提言は文化の定義そのものを根本的に書き換えます。それは、分断を超えて他者と出会うための「動的な共鳴の装置」としての再定義です。文化は、論理や制度、言語を超える「共感と想像力を通じて人々を結びつける」社会の基盤インフラそのものとして位置づけられます(3.2章)。

### 4. つながり (Connection)

SDGs が「包摂的社会」(SDG10, 16)において主に制度としての「包摂」を目指したのに留まらず、本提言は「社会的つながりの質」そのものを問い、「孤独や断絶をどう超えるか」を扱う明確な目標とします。これは「孤独なき Well-being 社会」(序章)の実現と直結し、7つのテーマワーク全てに通底する核心的な課題として認識されました。

### 5. 共創 (Co-creation)

SDGs が「協働 (Collaboration)」(役割分担)を呼びかけたのに対し、本提言は、異なる主体が互いの前提を揺さぶり合いながら、予測不能な新価値を生み出す「プロセスそのもの」を社会の駆動力として位置づけます。これは、技術・文化・ビジネス・市民参加といった異なるセクターが「横断」し、化学反応を起こす「共感と共創の空間」(3.1章)の創出を意味します。

### 6. 継承 (Succession)

SDGs が「2030年まで」という「行動計画」としての期限を持つことに対し、本提言は、価値観や物語を未来世代へと「紡ぎ直す」という、より長期的な時間軸を導入します。これは、単なる形式の「保存」ではない「動的な継承」(3.2章)であり、将来世代との対話と責任を含む視点です。

## 時代精神との共鳴と、本提言の核心的意義

ここで強調しておきたいのは、本提言の独自性が、これら6つのキーワードをゼロから「発明」したと主張する点にあるのではない、ということです。むしろ、これらの価値観は、国連が主導する「未来のための協定 (Pact for the Future)」や、OECDの「Well-being フレームワーク」など、世界の主要な議論においてすでに立ち上がりつつある時代精神そのものです。例えば、国連の議論ではすでに「共感 (empathy)」や「帰属意識 (belonging)」、「文化間対話 (intercultural dialogue)」が平和の礎として重視されています。OECDもまた、「社会的つながり」や「共感」を測定可能な Well-being の構成要素として位置づけ始めています。この時代精神を踏まえた上で、本提言が提示する核心的な意義は、これらの価値観を個別の「目標リスト」として並べるのではなく、それら全てを包括し、万博の理念である「多様にして1つに響き合う未来」を実現するための、一つの動的な OS として再定義する点にあります。

それが、「Better Co-being」というコンセプトです。

## 結論：「Better Co-being」 — 「いのち輝く未来」の動的プロセス

「Better Co-being」は、従来の「Well-being」という言葉が持つ「個人の幸福な状態」という静的なニュアンスから脱却し、「より良く共に生きる」ための絶え間ない動的なプロセスへと、そのパラダイムを転換させます。

ここで問われているのは、「私が幸福かどうか」だけではなく、「多様な他者や自然、技術、未来世代と、どのような関係の質を編みながら共に在るのか」という問いです。これは、本提言が「人間中心主義を超え、自然や非人間的存在との共生を取り入れる」（3.2章）や、「アバターや身体拡張技術」（3.1章）との関係性、そして「将来世代との対話」（4.2章）にまで踏み込んだことと完全に一致します。

SDGsが「何を（What）」達成すべきかという目標（Goals）のリストであったとすれば、「アジェンダ 2025」の知的レガシーは、「多様にして1つに響き合う未来」という理念のもと、「いかにして（How）」私たちは分断から「共鳴」を生み出し、多様性を保ったまま「共創」し続けるか、という「プロセス」と「価値観」そのものを提示するものです。

万博というリビングラボは、この「多様にして1つに響き合う未来」という動的プロセスの試行そのものであり、そこで見出された6つのキーワードは、そのプロセスを駆動するエンジンとして機能します。この「動的プロセス」への視点の転換こそが、既存のグローバルな議論に対して、大阪・関西万博とアジェンダ 2025が提示しうる独自の知的レガシーであると考えています。

### 引用文献

1. Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development | Department of Economic and Social Affairs, <https://sdgs.un.org/2030agenda>
2. Pact for the Future - United Nations Summit of the Future, <https://www.un.org/en/summit-of-the-future/pact-for-the-future>
3. Towards an overarching conceptual framework for social and demographic statistics1 - UN Statistics Division, [https://unstats.un.org/UNSDWebsite/statcom/session\\_56/documents/BG-3f-Towards%20and%20overarching%20conceptual%20framework%20for%20social%20and%20demographic%20statistics-E.pdf](https://unstats.un.org/UNSDWebsite/statcom/session_56/documents/BG-3f-Towards%20and%20overarching%20conceptual%20framework%20for%20social%20and%20demographic%20statistics-E.pdf)
4. General Assembly Seventy-eighth session 76th plenary meeting Thursday, 2 May 2024, 10 a.m. New York - the United Nations, <https://docs.un.org/en/A/78/PV.76?direct=true>
5. Recognition – An OECD Perspective - NYU Center on International Cooperation, [https://cic.nyu.edu/wp-content/uploads/1662/65/oecdpaper\\_recognition\\_-\\_an\\_oecd\\_perspective\\_.pdf](https://cic.nyu.edu/wp-content/uploads/1662/65/oecdpaper_recognition_-_an_oecd_perspective_.pdf)
6. mental-health-framework.pdf, <https://www.ucop.edu/student-equity-affairs/programs-and-initiatives/mental-health-framework.pdf>
7. Child Well-Being in an Unpredictable World | Unicef, <https://www.unicef.org/innocenti/media/11111/file/UNICEF-Innocenti-Report-Card-19-Child-Wellbeing-Unpredictable-World-2025.pdf>